

# 田中彫刻記

でんちゅうちようこくき

第十八話

肖像彫刻



「五浦釣人」

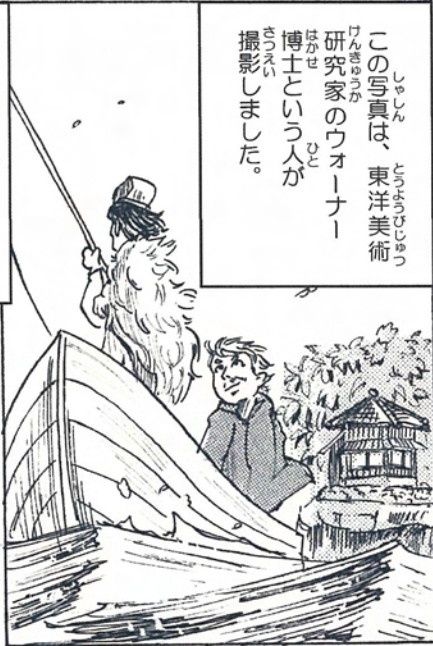
井 © いと 井 かし

田中は一枚の写真を手にしました。



写真は、生涯の回顧である。岡倉天心の姿が写っています。

この写真は、東洋美術研究家のウォーナー博士という人が撮影しました。

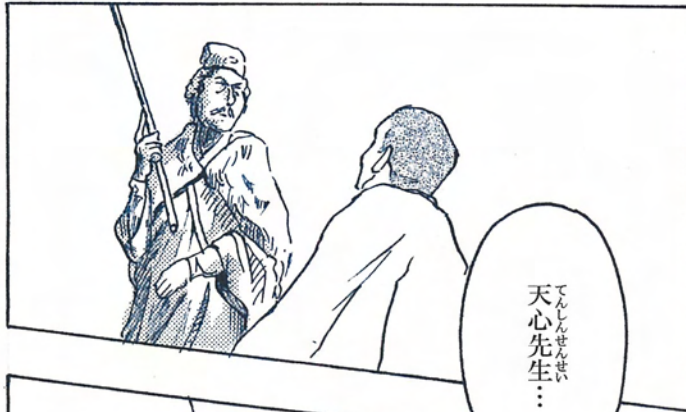


若い頃、岡倉天心から東洋美術の教えを受けて、調査のために何度か日本を訪れたことがあります。



ウォーナー博士は、太平洋戦争（1941～1945）が始まった頃、ハーバード大学にいて、日本の重要文化財のある地域を爆撃から外すように運動した人でした。





天心先生…



新たな試みを  
始めましたよ



年とともに深まる  
天心への感謝の思いが、  
ふつふつとわき上がって  
きます。



そして彩色の表現は、平瀬田中の代表作、  
「鏡獅子」へと受け継がれていきます。



歴史上の人物の姿を彫る、  
肖像彫刻も数多く作りました。



「源頼朝公像」

鶴岡八幡宮の中に  
ある白旗神社の本尊に  
奉納する彫刻に、  
初めて彩色を  
ほどこしました。

「壺龜随」  
浅野長勲公を  
モデルにしたもの